

## 新酪農時代への準備

今あなたが取り組むべきこと

連載 最終回

酪農コンサルタント

ライズコンサルティングオフィス 代表 加藤隆

## どんな人と出会えるかで、その後の人生が変わる

「連載が終わるとのこと、非常に残念です。もう酪農やめようかな？ って思った時のこの連載は、大きな励みになりました。ありがとうございます」 4月、読者から、こんなありがたいフアックスをもらいました。思わずポロツ。本当にうれしかったです。こちらこそお礼を。

連載初めの頃は、書いても書いても、「シーン」だったんですよ。なくんにもなかったんですから。「やっぱ俺じゃダメなんだってっ！」なんて、ブツブツ言ってたんですよ(笑)。

でも、今、書き続けて良かったって思っています。熊本や岐阜の人から電話をもらったり、九州、関西、もちろん地元の北海道の人からも、全国各地からメール、フアックスをもらいました。本当に感謝していますよ。で、残念ですけれど、今日をもって、降板しますね。

▽ 連載の最後は？

1つだけアドバイスさせてもらって、お別れしようと思っています。それは、人は、「人」との出会いによって大きく人生を変えることがあります。あの人のお陰で経営が変わったあの人のお陰で人生が変わった。もしも、そんな劇的な出会いができていたなら、その人は、そのチャンスをしつかり自分で引き寄せたのだと思います。

誰かの影響を受け、それに憧れ、それが理想となり、その思いの形が、今表れているあなたの牧場の形なのだろうと思っています。でも、それを今後、どのように発展させて行くのかと考えた時、きっとあなたは、どこかに、その答えを探しに出かけるはずですよ。その時、どんな人と出会えるかで、その後の人生が、また変わることでしよう。

じゃ、どういう人があなたにふさわしいのだろうか？ そんなことを考えた時、どうし

てもあなたに伝えておきたいことがあります。

それは、あなたの誤解、思い込み、勘違い、先入観などを上手に説き明かしてくれる人、そういう人が、あなたにも必要です。誤解している知識、技術なんかを上手に教えてくれる人、誤った先入観、勘違いなどで、成長を止めてしまっている人、それらを上手に気づかせてくれる人を指南役として、あなたの側に置いておくことです。

あなたに考える時間を与え、あなたに答えを出させる。そういう人でなければならぬと思っけています。経営は、あなた自身の経営です、あなた自身の人生です。あなたが自分で答えを出さなくて誰が出すのでしょうか？

あなたが、あなた自身で考え、その答えを出す。そのために、私のようなものが、案内役としてアドバイスさせてもらう、言いかえれば、「気づかせ屋」のようなものです。

#### ▽ 気づかせ屋と出会えるかどうか？

ひとりで、行く道を迷っている人、もがいている人、そういう人にこそ、「気づかせ屋」と出会ってほしいと思っけています。ただ、どんな機会を利用して、そういう人と出会うか？ 出会ったとしても、その人がどういう人なのか、それを見抜く目を養うのには、経験が必要ですが。

でも、どんな考え方を持つ人なのか、どれだけの知識を持つ人なのか、それらは、書物などを通して読み取ることができます。さらには、どれだけの経験と、どれだけの実績を持つ人なのか？ それは、じかに聞いてみればいいのです。

たとえば、飼料設計、計算をできる人は、たくさんいます。それらの作業は、専門知識を持つ人であれば可能なことです。でも、それらを駆使して、すでに実績を出している人、傑出した実績を残している人、そういう人かどうか、それは別物です。

実績がなくてもその作業はできるのですから、どれだけの実績を出している人なのかを、あなたは、しっかり聞いて確認しなければなりません。

#### ▽ 新酪農時代への準備

新しい酪農の時代、そのようなタイトルで連載を続けさせてもらいましたが、それがどんな形のものなのか、正直、わかりません。

日本の生乳生産は、約800万トンですが、実は、それ以上の乳製品を必要としているお客さんが、日本には、たくさんいると聞いています。でも時々、生産調整があったりなど、なかなか生乳生産が増えて行かない矛盾を、現場にいるものとしては、とても感じています。

全体を見れば、そのあたりを何とか、展望として示してほしいという思いもあるのですが、ただ、いずれにしても、あなたがどんな酪農にしたいのか？ どんな牧場の姿にしたいのか？ つまり、酪農をどれだけ楽しめるか？ それが原点だと思います。

現在の酪農情勢は、まさに冬の時代ですが、でもその中であっても、「新規就農したい」「親の後を継ぎたい」 そういう若者が多いのです。今後、彼らに日本の酪農をリードして行ってもらうためにも、先輩の私たちは、まだまだ、がんばらなくてはなりません。

その実現のために、私のような人間が、ちょっとでもそのお手伝いができたらと。あなたの酪農応援隊として。

最後に。この連載を通じて、多くの人たちと出会うことができました。この場に感謝しています。そして何よりも、あなたの今後のがんばりに期待しています。それでは、お元気で。多謝。

■ 連絡先 電話 0155-32-3352 ファクス 0155-32-3353 メール [risecorp@nifty.com](mailto:risecorp@nifty.com)

■ ブログ「酪農応援隊 牛乳、飲んでねっ！」  
検索キーワードは、「酪農応援隊加藤隆」

URL:<http://katoblog.cocolog-nifty.com/blog/>

※ 私の連載を読んで頂いたお礼に、顧客限定の月刊誌「ニュースレター」2008年4月号を差し上げます。ご希望の方は、右記の連絡先に、送付先と氏名を連絡ください。準備でき次第、お送りいたします。